



平成27年5月29日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学  
理事・副学長 下間 康行

**産学官が連携して県内企業の水素・燃料電池産業分野への参入を加速**  
(山梨大学が初めて「水素・燃料電池技術支援室」を開設)

本学は、1978年に国内外で初めてとなる燃料電池実験施設を文部省令で設置して以来、今日まで、国や山梨県の絶大な支援を得て、クリーンエネルギー研究センター、燃料電池ナノ材料研究センターへと改組拡充し、国家プロジェクト等を通じて世界最高レベルの基礎研究・教育拠点に拡充・発展させてまいりました。昨年度閣議決定された新しいエネルギー基本計画の中で、「将来の二次エネルギーでは、電気、熱に加え、水素が中心的役割を担う」と位置づけられ、水素社会・基盤産業創出への流れが明確になってきました。

この機に本学は、山梨県と一層緊密な連携を図り、公益財団法人やまなし産業支援機構と協調して、県内企業の水素・燃料電池分野への参入を支援し加速させるため、大学直属の「水素・燃料電池技術支援室」を6月1日付けで新設いたします。

同室を中心として、山梨大学がこれまで進めてきた国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)事業や水素・燃料電池関連の研究成果を、産業界、分けても地域産業界と強く連携して実用化展開を図ると同時に、豊富なノウハウと世界最高レベルの研究施設や設備を駆使して、県内企業への技術支援を積極的に行ってまいります。

つきましては、下記のとおり、同室の開設、看板除幕式を挙行し、同室の概要をご説明いたしますので、ご参集方よろしく願いたします。

記

- 日時 : 平成27年6月1日(月) 10:30~
- 場所 : 山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター敷地内  
(山梨県甲府市宮前6-43)
- 次第 : ① 看板除幕式(水素・燃料電池技術支援室:研究棟A)  
② 理事、技術支援室長による新設支援室などに関する説明  
(燃料電池ナノ材料研究センターセミナー室)  
③ 燃料電池ナノ材料研究センター視察(マスコミ関係の希望者)
- 出席予定者: 山梨大学長 島田 眞路、理事 早川 正幸、理事 下間 康行、  
水素・燃料電池技術支援室長 飯山 明裕  
山梨県産業労働部長 平井 敏男 様  
公益財団法人やまなし産業支援機構理事長 安藤 輝雄 様

以上

(広報担当)  
山梨大学総務部  
総務課広報グループ  
TEL: 055-220-8006